

リニア駅アクセス検討会議の進め方

飯田市リニア推進部

○ リニア駅アクセス検討会議の目的

リニアの開業を見据え、その開業効果を広く地域振興に活かすため、広域的な見地からの検討を行う

- ・開業に向け構築する充足性・円滑性・利便性を備えたリニア駅との二次交通連結機能
- ・開業後も見据えた自動運転や新たなモビリティ対応、MaaS等の交通システムの想定
- ・以上を踏まえた各拠点からの地域交通体系と二次交通との連結機能

○ リニア駅アクセス検討会議における検討

(1) 会議の構成

- ・検討会議全体会：検討会議全体の進め方、進捗確認を行い、検討の方向性の確認を行う
年1～2回の開催を想定（リニア駅前広場活用検討会議と合同も想定）
- ・検討会議分科会：設定したテーマに応じて実務者レベルの具体的な検討を行う
概ね隔月での開催を想定
- ・個別検討：県、各広域連合、又は市町村毎に検討を行う
- ・事務局調整会議：検討会議の内容、進め方等の協議を行うため随時開催する

(2) 全体会における飯田市からの情報共有事項

- ・交通体系の構築に向けた検討状況
JR飯田線の既存駅(元善光寺駅、飯田駅)と新たなモビリティでシームレスに接続する方針
飯田市の交通体系の検討状況 → 地域公共交通の活用、地域の拠点との接続
- ・交通広場の整備に向けた検討及び実施設計への反映状況
交通広場の設計概要、駐車場の設計概要等
- ・新たな交通システムの導入に向けた検討状況
自動運転、新たなモビリティ、MaaS、駐車場システム等

(3) 分科会における主な検討要素

以下の5つを想定

- ① 来訪者が利用する円滑な広域的二次交通
観光、ビジネス等目的別の需要による二次交通等
→ (交通広場における対応事項は飯田市による検討から整備へ反映)
- ② 地域居住者が利用する円滑な交通手段
リニア駅を利用する地域居住者に対する各拠点からの交通手段等
→ (交通広場における対応事項は飯田市による検討から整備へ反映)
- ③ MaaS等の交通システムへの対応
利用者、目的別のMaaSシステムの活用に向けた研究等
駐車場システムの活用に向けた研究等
→ (交通広場における対応事項は飯田市による検討から整備へ反映)
- ④ 自動運転への対応
利用者、目的別の自動運転を見据えた導入・運用に向けた研究等
- ⑤ 新モビリティへの対応
利用者、目的別の新たなモビリティ(空飛ぶクルマを含む)を見据えた研究等

(4) 並行して進める飯田市の検討との随時の共有事項

- ・次世代インフラPJにおける自動運転、新たなモビリティ、MaaS等の検討

○ リニア駅アクセス検討会議における検討の目的

令和5年度～ 既存会議体との役割整理、先進事例等の研究、検討要素の具体的な検討等
令和7年度末 交通広場への反映事項とりまとめ → 交通広場整備へ反映

リニア駅前広場活用検討会議の進め方

飯田市リニア推進部

○ リニア駅前広場活用検討会議の目的

- リニアの開業を見据え、その開業効果を広く地域振興に活かすため、広域的な見地からの検討を行う
- ・リニア駅を利活用した、外部から人を呼び込むために求められる機能やサービス提供の方向性
 - ・地域の特産品・食・文化・自然・人等の地域の魅力や資源を活用した、高架下空間・交流広場での店舗やイベントへの展開
 - ・観光や体験等を通じた交流人口の拡大と、移住定住・二地域居住、サテライトオフィス・リモートワークの推進等、リニア駅から各地域へいざなう仕組みの構築
 - ・DXやメタバース、MaaS等を活用した大都市圏域やインバウンドへの継続的な情報発信

○ リニア駅前広場活用検討会議における検討

(1) 会議の構成

- ・検討会議全体会：検討会議全体の進め方、進捗確認を行い、検討の方向性の確認を行う
年1～2回の開催を想定（リニア駅前広場活用検討会議と合同も想定）
- ・検討会議分科会：設定したテーマに応じて実務者レベルの具体的な検討を行う
概ね隔月での開催を想定
- ・個別検討：県、各広域連合、又は市町村毎に検討を行う
- ・事務局調整会議：検討会議の内容、進め方等の協議を行うため随時開催する

(2) 全体会における飯田市からの情報共有事項

- ・高架下空間、交流広場の整備に向けた検討及び土木の実施設計への反映状況
広場の設計概要、高架下空間の概要等
- ・地域のブランド構築、管理運営組織の組成に向けた取組み
ブランドクリエイティブP Jにおけるブランド構築、事業組成、広場利活用、情報発信の検討

(3) 分科会における主な検討要素

以下の5つを想定

- ① 高架下観光インフォメーション
案内所、コンシェルジュ機能等、リニア開業に向けた枠組みの構築等
→（駅前広場整備における対応事項は飯田市による検討から整備へ反映）
- ② 移住促進に向けたインフォメーション
移住定住・二地域居住、働く場所の案内、利用情報ネットワークの構築等
→（駅前広場整備における対応事項は飯田市による検討から整備へ反映）
- ③ 高架下空間における情報発信
情報発信ツール（デジタルサイネージ等）を活用した市町村・圏域等の情報提供方法等
→（駅前広場整備における対応事項は飯田市による検討から整備へ反映）
- ④ 地域の魅力の活用
駅前広場、高架下空間におけるイベント・定期市・マーケット等の開催、飲食・物販等
→（駅前広場整備における対応事項は飯田市による検討から整備へ反映）
- ⑤ 都市圏域に向けた魅力情報の発信
メタバース等を活用したコンテンツの導入検討、銀座 NAGANO 等との連携、MaaS等のデジタル技術を活用した情報提供サービス等
（観光等の要素を踏まえた交通機能への反映事項はアクセス会議においての検討へ）

(4) 並行して進める飯田市の検討との随時の共有事項

- ・ブランドクリエイティブP Jにおける管理運営組織の組成に向けた取組み、ブランド構築等

○ リニア駅前広場活用検討会議における検討の目途

令和5年度～ 他事例等の研究、高架下空間で発信する情報、駅前広場の活用等の具体的な検討等
令和7年度秋 駅前広場への反映事項とりまとめ → 駅前広場整備へ反映